

港区立本村小学校
令和6年度 授業改善推進プラン

<第6学年>

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える力	【領域：書くこと】 (観点：思考・判断・表現) 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができること。	・文章を書く学習の導入では、題材について児童が具体的に考える活動を設定することで、児童が学習のめあてを把握し、書く目的を明確にもって文章の構成を考えるようにする。 ・文章を書き終えたら、教科書の例文や構成メモをもとに単元のめあてを再度確認し、互いの書いた文章を読み合う活動を行う。友達の文章を読んだり、友達からアドバイスをもらったり することを通して、どのような構成や表現がより効果的に自分の主張を伝えられるのかを考え、推敲できるようにする。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・我が国の歴史と政治および国際理解に関する社会的事象の理解と各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能。	【見方・考え方：事象や人々の相互関係】 (観点：思考・判断・表現) 資料に着目して、考察したことを事実と結びつけること。	・複数の資料を提示し、それらに関連させて学習問題の答えを考える展開とする。個人で考えをまとめた後、児童の考えを交流させる。その後、再度自分の考えを見直す時間を設定することで、資料から考察した内容と事実を関連づけて考えられるようにする。 ・児童一人一台の情報端末を活用し、児童の興味・関心を資料に向けさせたり、資料から分かることなどをスクールタクトでまとめたりする活動を取り入れることで、児童が互いの考えを交流し、学習内容に対する理解を深められるようにする。

算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察する力	【領域：データの活用】 (観点：思考・判断・表現) 必要な数値を読み取り条件に当てはまることを、言葉と数を用いて記述すること。 【領域：変化と関係】 (観点：思考・判断・表現) 百分率を理解し、正しく式を立て、割合、基準量、比較量を求めること。	・領域を問わず、問題解決のために立てた式の意味を数直線などの図を使って説明する活動を積極的に取り入れ、数量の関係を正しく捉え、根拠をもって立式できるようにする。

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、観察などに関する基礎的な技能 ・問題についての予想や仮設を持ち表現したり、予想、仮設や結果から考察し、自分の考えを表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事象や日常生活での体験、観察から、問題に対しての予想・仮設を表現すること ・観察、実験の結果を整理し考察する学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、観察などの基礎的な技能を身に付けさせるために、個々やグループでの児童の活動を十分に確保したり、複数回取り組ませたりする。 ・予想や仮設、実験の方法などについて説明したり、実験の結果を整理し考察したりする。そのためにペアやグループでの対話的活動を取り入れたり、表やグラフなどに表して互いの考えを伝えあったりする。

生活	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする力 ・音楽の楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむための技能と態度 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能 【思考力・判断力・表現力】 ・音を音楽へと構成することを通して、全体のまとまりを意識した音楽づくりに思いや意図を持つことを考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイスアンサンブルや、三部合唱曲を取り上げ、主体的なパート選択、リーダーの選出、音楽を構成するリズム・速度・旋律・強弱・和音の響きを工夫して、グループ単位で表現し、発表を行う。 ・複数のパートに分かれた規模の大きい合奏曲を作り上げ、主体的な楽器選択、教え合う協働活動を行い、旋律やリズムを生かした合奏を行う

図工	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形の違いを理解し、材料や用具を活用し、表し方を工夫して、創造的につくり表したりする。 ・表したいことに向かって創造的に発想や構想を広げ、親しみのある美術作品などから自分の見方、感じ方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】・既習の材料、用具の扱い方を定着させること。 【思考力・判断力・表現力】・材料や用具、言葉、色等から創造的に発想や構想を広げられること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・用具や材料から想像を広げ作り出す喜びを味わい、主体的に取り組むことができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の扱い方を徹底し、表し方を工夫しながら前学年までの材料や用具の扱いについて経験や技能を総合的に生かし、技術の定着を図る。 ・さまざまな材料や用具を使いながら、感じ方や想像したことを基に、創造的に発想や構想を広げられるようにする。 ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようと工夫する力。	・衣食住などの実践的・体験的な活動から、家族や地域の人々と関わったり、よりよい家庭生活をするために工夫したりする態度へとつなげる。	・日常生活の中から問題を見出して、様々な解決方法を考えさせるとともに、学習した知識や技能をもとに、実践的な活動を家庭や地域などで行えるようにする。 ・「食生活」の内容では「食事の役割」「調理の基礎」「栄養を考えた食事」の3項目を関連付け、実際に給食の献立を立てるなどの実践を行う。

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、自己の最善を尽くしたりして運動する態度 ・各種の運動の特性に応じた基本的な技能	・体力調査では、全国的に全国平均を下回っている。 ・各運動経験が不足している。	・運動の特性に応じた動きを理解し、技能を身に付けさせるために、動きのポイントを提示(児童の気付いたポイントも提示する)する。情報端末を活用して、自分の試技を振り返らせる。 ・技能のポイントが分かる資料の提示をし、課題が明確になるようにして、自分に合った課題を見付け運動できるようにする。 ・気付いたことを伝え合い、技能向上を図れるようにし、個々の特性に合った場や用具を適切に選べるようにする。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・聞くこと、読むこと、話すこと書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	【領域:聞くこと】 (観点:思考・判断・表現) 短い物語や人物のやり取りを聞いて話の概要を理解すること。	・「聞くこと」の活動を行う際には、児童に何について聞き取ることが目的なのか明確に示し、目的意識をもって活動に取り組めるようにする。 ・単元の題材で使う単語を情報端末(メトロラーニング)で聞く機会を設定し、児童一人一人が自分に必要なだけ繰り返し聞くことができるようにすることで、英語を聞く力を高められるようにする。 ・聞き取った内容についてペアやグループで確認する時間を設けたり、聞いた内容についてのクイズを出したりすることで、児童がより意欲的に「聞くこと」の活動に取り組めるようにする。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・道徳的諸価値についての理解 ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力	【物事を多面的・多角的に考える】 ・価値理解と同時に人間理解や他社理解を深め、さらに自分で考えを深め、判断し、表現すること。	・児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材を活用する。 ・児童への「ゆさぶり」を積極的に取り入れ、自分事として捉え、話し合いが行える授業展開にしていく。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度 ・主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動や係活動、縦割り班活動を振り返る時間を確保する。 ・学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を積極的に取り入れる。 ・自主的に学習する場としての学校図書館等を活用させる時間を確保する。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能 ・自ら問題を見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現する力 ・学習したことを、自分の将来に役立たせようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程で、情報を取捨選択・整理・分析すること。 ・調べた情報をまとめる際に、目的に合った表現方法を選択すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの情報に関する学習と取り入れる。そのために必要な情報手段の基本的な操作を習得させ、情報や情報手段を主体的に選択し、活用できるよう配慮する。 ・情報収集やまとめの作業の途中で、児童が互いに情報や意見を交換し合う場面を意図的に設け、自分の活動を見直すことができる場面を設定する。